

企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解

人材育成上の課題・目標

- ・企業活動と最新のIT情報を知りたい
- ・他企業内で活用されている情報機器を知りたい
- ・IoT機器のネットワーク接続に必要な技術を知りたい
- ・ソフトウェアのライセンス形態について知りたい
- ・自社の業務に活かせるIT化技術のメリット・デメリットを知りたい



課題解決・目標達成を目指して

- ・ITについての現状や動向を理解する
- ・新しいIoT機器の活用方法を理解する
- ・ソフトウェアライセンス形態について理解する
- ・企業内でのIT化の推進役を務めることができる

コースのねらい

企業を取り巻く現状及び動向を理解し、生産性向上を目指したIT活用に向け、業務に必要となるハードウェアやソフトウェアについて理解する。

カリキュラム(例)

	基本項目	主な内容(例)
基本要素	■ ITとビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の主な業務活動 ・企業活動におけるITの有効活用 (例) テレワークの基本的な考え方や事例など ・企業内で使用する各種情報システム (例) IoTを活用したシステムの事例など
	■ 業務に必要なハードウェアの選択と適用	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータで扱うデータ ・コンピュータの構成要素 ・IoTデバイスの役割と構成 ・IoTネットワークの構成要素
	■ 構成するソフトウェアとライセンス	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレーティングシステム(OS)とアプリケーション ・オープンソースソフトウェア(OSS) ・ビジネスシステムのソフトウェアパッケージ ・ソフトウェアライセンス
	演習(例)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務で活用している・活用したいIoT機器の情報共有 ・活用実績のあるソフトウェアライセンス形態の情報共有 ・IT化に不向きな業務の検討
	応用・実践要素(例)	<ul style="list-style-type: none"> ・システム導入の目的や要件の検討 ・システム化に対する費用対効果の検討 ・開発手順とユーザの役割の理解

日程設定と受講料(例)

- (1) 1日(6時間)コース
3,300円(税込)
- (2) 2日間(12時間)コース
5,500円(税込)

- ※ 金額は、1名あたりの受講料です。
- ※ 6~30時間の間で設定可能です。

推奨対象者

中堅層、管理者層

関連コース

- A 生産管理
 - ・在庫管理システムの導入
 - A 流通・物流
 - ・流通システム設計
 - ・物流システム設計
 - A バックオフィス
 - ・IoT活用によるビジネス展開
 - ・クラウドを活用したシステム導入
 - ・クラウドを活用した情報共有能力の拡充
 - ・テレワーク活用
 - ・テレワークを活用した業務効率化
 - ・ITツールを活用した業務改善
 - ・データ活用で進める業務連携
 - ・失敗しない社内システム導入
 - ・企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント
 - B 組織マネジメント
 - ・成果を上げる業務改善
 - ・ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善
- ほか

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。